

# 新卒者激励会は中止に

## 令和4年度同窓会本部総会開催



発行 青森県立五所川原工業・工科高等学校同窓会  
 青森県五所川原市大字湊 字船越192  
 電話(0173)351344番  
 企画 同窓会事務局  
 編集 (有)北斗オフセット

初夏の候 皆様におかれましてはますます御清栄のことと、お喜び申し上げます。また、平日頃より本校同窓会発展のため格別の御指導、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、昨年度新たにスタートしました五所川原工業高校生と五所川原工業高校生が一緒の学舎で学校生活を送って二年目になりました。さらに、令和五年一月には五所川原工業高校の閉校式典を迎え、最後の一年となります。

ところで、ここ二年間コロナ禍ということもあり感染症拡大防止のため同窓会本部総会を中止といたしました。中止といたしましたが、三年ぶりに同窓会本部総会を左記のとおり開催いたします。御多忙中、誠に恐縮ではございますが、工業高校の隆盛と工科高校の発展ならびに会員相互の親睦をはかるため、皆様の御出席をお願い申し上げます。

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

- 1、日 時 令和四年 七月二日(土) 13時30分より
  - 2、場 所 本校会議室 五所川原市大字湊字船越192 電話0173-351344
  - 3、次 第
    - (1) 開会の辞
    - (2) 会長挨拶
    - (3) 校長挨拶
    - (4) 議長選出
    - (5) 審議事項
      - ・令和3年度事業報告
      - ・令和3年度監査報告
  - (6) 報告事項
    - ・令和4年度事業計画(案)
    - ・令和4年度予算(案)
    - ・令和4年度役員及び事務局について(案)
    - ・その他
  - (7) 閉会の辞
- ※コロナ禍ですので、感染症防止対策として懇親会は行いませんのでご理解ください。
- 4、申込み連絡先 電子メールをご利用される方



## 「五所高同窓会新旧融合」

同窓会長 (M3) 山口 孝夫

昭和三十八年開校。翌年、東京オリンピック。翌次の年に、ようやく一年生から三年生まで揃いかつ又校舎・実習棟と完成し、機械科・電気科三クラスずつ揃い、初代校長鈴木太左衛門先生の言葉を生徒・教職員一緒に聞く機会を得たことが今日、本学の基礎を築いたと思わずにいられない。

「技術者たる前に人間であれ」という指導の基、学校創立のトップランナーのプライドを持ち立派な校風を自分達で育てるべく、日々の勉学に、クラブ活動に、全校一体となつて突き進んでいたように思う。

自分磨きのための自主的活動にしても、先生方の生徒に対する細やかな指導が、単に技術的な指導ばかりではない人間として進むべき「羅針盤」的な役割を果たしていたのではないかと思う。

私の五所川原工業高校での三年間は毎日があつても充実してあつたという間に過ぎていった。月日は流れ平成二十四年十一月十日、五所川原工業高校創立五十周年。充実感溢れる式典、記念祝賀会。席には懐かしい顔がずらり、関東支部からも駆けつけてくれた。

この式典を最後に、前任の阿部廣悦会長(M1)が勇退され私にお鉢が廻ってきたわけですが、会長職にやると慣れ始めた平成二十九年突然の学校統合問題…。

今年、令和四年四月には五所川原工業高校二回生の入学式が挙行された。永きにわたつた同窓会も令和五年が工業高校としての最後の同窓会となるのである。よって令和六年七月には五所川原工業高校・工科高校同窓会として新たなページを開くこととなる。

新設になった校舎や実習棟を見学する機会を得た。新たな設備等を見て工業科の生徒と同窓会は、どうであつたから…。

最後に、五所川原工業高校に入學してよかった。自分が自分らしく活かされてよかった。自分が自分らしく活かされたのもあなたにめぐり逢えたから。そして五所高の同窓生であつたから…。

### 「私と五所高」

M6回卒 秋村 文雄

半世紀前、私の長兄、次兄に続き躊躇なく入学することができました。当時は中高卒生が金の卵と持てはやされ、中堅技術者として多くは県外に職を求めたことは言うまでもない。在学時は、担任の谷口忠一先生、二年次は飯塚俊雄先生、三年時は齊藤卓雄先生、勿論、多くの教職員に恵まれたことは言うに及ばない。縁あって、母校に残留することとなり、職員の親睦として五工ダックス朝野球チーム員として同郷の楠美俊一先生のカラーラ車に同乗させて頂き八年間、プレーに熱血を注ぐこととなりました。他にカナルスキークラブ等懐かしい思い出です。また、生徒会担当の西村智道教諭(E二八回卒)発案の巨大企画(食育活動)では、全校生徒による五十四メートルお好み焼き・シチューづくり(母親委員

会参加)・全校大茶会(裏千家江渡誠子氏指導) 八千個のプリンによる校章づくりなど協力できたことは喜びであり、奇想天外のものづくりには、全校一家族を彷彿させるものとなりました。

現在、還暦を過ぎ、体力も怪しい年齢となりましたが、同窓生の益々のご活躍と後代の更なる発展を祈念し次年度の開校六十周年を心から祝福申し上げます。





校長 島元 力

# 「五工し美し」



この四月に着任した校長の島元力(しまもとちから)と申します。昭和四十年深浦生まれ、五所川原市内在住の五十六歳。これまでの勤務三十四年のうち、西北五の勤務は今年が通算二十年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。

ではまだ何もしていないというのに、思いがけず誇らしい気分を味わうこととなり、生徒・教職員のこれまでの努力と、その努力を支えてこられた同窓生や地域の方々へ感謝と敬意の念を抱いた五所工着任第一目でありました。

五工生との初対面は四月七日の入学式。『新しい酒は新しい革袋に盛れ』という言葉を新約聖書から引用し、「新たな目標達成のためには、新たな取り組みが必要である」と一五三名の新入生に呼びかけました。翌四月八日の始業式では、

これまでの教員生活で得た実感として「才能と努力が逆転するのが高校時代・一人一人のペースで小さな努力を継続せよ」と全校生徒に訴えました。

さて、四月一日に着任して最初の仕事は本校関係者をはじめ、市長さん・教育委員会・マスコミ等への御挨拶回りです。その後も入学式までの数日でたくさん保護者や同窓生、地域の方々からお話を伺ったのですが、五所川原工業の就職・進学・部活動の実績への賛辞と、昨年スタートした五所川原工科への期待と応援の声を数多くいただきました。

こうして着任早々、自分

してその姿を生徒に感じ取って貰えるよう研鑽に務めたいと考えております。

この二つは教職員にとっても同様のことでありますので、私自身、常に新たな目標を掲げ、学び続けることで成長し、生きた教材として



# 「3年ぶりの開催をよるいじぶ」

関東支部長(E13) 江良 実 (高窓連副会長兼務)

今年も同窓会は無理かな? 新年早々から4月17日(日)の第2回役員・運営委員会開催前日まではそう思っていました。今年も各方面に中止の案内を出さなきゃいけないのかなあ?。年が明け1月末に2月27日(日)の第2回役員・運営委員会開催のための招集案内メールをしました。しかし案の定、新型コロナの感染者拡大に伴い延期せざるを得ない状況になりました。改めて3月中旬に4月17日(日)の第2回役員・運営委員会開催のための招集案内をメールしました。新型コロナの感染状況は予断を許さない状況は変わらぬまま、変異株の発症確認など一時はどうなるんだろうと思いましたが繰り返されるまん延防止措置、外出自粛も東京都から解除になりましたので今ここで動かないと関東支部同窓会を待ち望んでいる支部員に言い訳が出来なくなると思いながら役員と運営委員からの返信メールを待ちました。ひとり、二人と参加メールが増え10名を超えました。最終的に14名の参加による第2回役員・運営委員会を新宿の三平で開催するこ

とが出来ました。議題は6月26日(日)に予定している新卒者激励会および第56回総会親睦会・新入支部員歓迎会開催の可否に絞りました。最終的には一人ひとりの意見を聞いてから多数決で決めようと考えておりました。開始前の雑談では4月末までは友好団体など周りも行事開催中止がほとんどだと聞いており今の状況からすれば6月の開催は残念だけど中止するべきとの発言が多かったような気がしました。支部長の進行で会議が始まり議題を絞った旨皆さんに伝え一人ずつ意見と提案を願いました。

つい先程までは同窓会関東支部の新人支部員歓迎会、総会ならびに懇親会を昨年、一昨年に続きやむなく中止せざるを得ないかと思っていました。たが会議中盤からこのまま中止となれば関東支部同窓会の運営委員と支部員の間で誤解や温度差が生まれて存在すら忘れられてしまうことになり兼ねない何か開催出来る方向に向かえないかとの発言に変わっていききました。このまま終わりにしたくない、仲間の顔を見て話をしたい、でも集団

クラスターなどあってはならない、仲間を不安にさせること出来ない、どうすれば良いのか? いったん休憩!!

ここで会議の主題である総会等の開催可否について多数決をとることにしました。方向性については可決されてから考えることとしました。

多数決でどの様な総会にするかは別としてとりあえずは開催する方向で可決されました。その後の話し合いで新卒者激励会については学校側主催のため学校・同窓会本部の意向に委ねることとし開催の場合は関東支部がバックアップすることを決めておりました。最終的には学校側との協議で中止となりました。新卒者激励会が中止になれば関東支部同窓会の新人支部員歓迎会は中止することに決まりました。

基本的には総会・親睦会は支部員のためのもので誰のものでありません。毎回出席いただいている友好団体などにおいて「招待をご遠慮頂く案内を出して支部員の参加希望者(別途案内発送と返信ハガキにより参加可否連絡)による総会・親睦会を開催すること

とが出来ました。議題は6月26日(日)に予定している新卒者激励会および第56回総会親睦会・新入支部員歓迎会開催の可否に絞りました。最終的には一人ひとりの意見を聞いてから多数決で決めようと考えておりました。開始前の雑談では4月末までは友好団体など周りも行事開催中止がほとんどだと聞いており今の状況からすれば6月の開催は残念だけど中止するべきとの発言が多かったような気がしました。支部長の進行で会議が始まり議題を絞った旨皆さんに伝え一人ずつ意見と提案を願いました。

つい先程までは同窓会関東支部の新人支部員歓迎会、総会ならびに懇親会を昨年、一昨年に続きやむなく中止せざるを得ないかと思っていました。たが会議中盤からこのまま中止となれば関東支部同窓会の運営委員と支部員の間で誤解や温度差が生まれて存在すら忘れられてしまうことになり兼ねない何か開催出来る方向に向かえないかとの発言に変わっていききました。このまま終わりにしたくない、仲間の顔を見て話をしたい、でも集団

クラスターなどあってはならない、仲間を不安にさせること出来ない、どうすれば良いのか? いったん休憩!!

ここで会議の主題である総会等の開催可否について多数決をとることにしました。方向性については可決されてから考えることとしました。

多数決でどの様な総会にするかは別としてとりあえずは開催する方向で可決されました。その後の話し合いで新卒者激励会については学校側主催のため学校・同窓会本部の意向に委ねることとし開催の場合は関東支部がバックアップすることを決めておりました。最終的には学校側との協議で中止となりました。新卒者激励会が中止になれば関東支部同窓会の新人支部員歓迎会は中止することに決まりました。

基本的には総会・親睦会は支部員のためのもので誰のものでありません。毎回出席いただいている友好団体などにおいて「招待をご遠慮頂く案内を出して支部員の参加希望者(別途案内発送と返信ハガキにより参加可否連絡)による総会・親睦会を開催すること

とが出来ました。議題は6月26日(日)に予定している新卒者激励会および第56回総会親睦会・新入支部員歓迎会開催の可否に絞りました。最終的には一人ひとりの意見を聞いてから多数決で決めようと考えておりました。開始前の雑談では4月末までは友好団体など周りも行事開催中止がほとんどだと聞いており今の状況からすれば6月の開催は残念だけど中止するべきとの発言が多かったような気がしました。支部長の進行で会議が始まり議題を絞った旨皆さんに伝え一人ずつ意見と提案を願いました。



令和3年度 同窓会決算報告

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

△: 収入額が予算額と比較して減の場合

<収入の部>

Table with 5 columns: 項, 目, 令和3年度(予算額, 収入額), 増減額, 備考. Rows include 1 会費, 2 繰越金, 3 雑収入, 合計.

<支出の部>

Table with 5 columns: 項, 目, 令和3年度(予算額, 支出額), 増減額, 備考. Rows include 1 活動費, 2 広報費, 3 慶弔費, 4 予備費, 合計.

(収入の部) 1,817,325円 (支出の部) 579,376円 (残額) 1,237,949円 ※R4年度に繰越

令和4年度 同窓会予算案

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

△: 収入額が予算額と比較して減の場合

<収入の部>

Table with 5 columns: 項, 目, 令和4年(予算額), 令和3年(予算額), 増減額, 備考. Rows include 1 会費, 2 繰越金, 3 雑収入, 合計.

<支出の部>

Table with 5 columns: 項, 目, 令和4年(予算額), 令和3年(予算額), 増減額, 備考. Rows include 1 活動費, 2 広報費, 3 慶弔費, 4 予備費, 合計.

(収入の部) 2,332,949円 (支出の部) 2,332,949円 (残額) 0円

関東支部役員・運営委員

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 科回, 氏名, 科回. Lists members of the Kanto Branch.

令和4年度本部役員

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 科回, 氏名, 科回. Lists members of the Main Office for R4.

Table with 4 columns: 学科, 性別, 男子, 女子, 計. Graduation statistics for R4.

卒業生累計 令和4年3月現在

中京支部役員

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 科回. Lists members of the Chūkyō Branch.

青森支部役員

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 科回. Lists members of the Aomori Branch.

令和3年度 同窓会特別会計決算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Special account financial statement for R3.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Special account financial statement for R3 (continued).

令和3年度特別会計残額(A-B) 2,876,029円 蒼空基金60万円定期 609,912円 特別会計総額 3,485,941円

令和3年度 4月5日 職員歓迎会
令和3年 4月7日 入学式※山口会長出席
4月15日 前期役員会開催(本部・支部総会について、役員改選)
5月 本校高校総体激励会
6月18日 同窓会会報第36号をウエブサイトで閲覧開始
6月26日 中京支部激励会
6月27日 関東支部総会
7月3日 第56回本部総会
7月 青森支部総会
令和4年2月14日 後期役員会開催(同窓会入会式等について)

令和3年度事業報告

令和4年度 定期人事異動 (五所川原工業高等学校・五所川原工科高等学校)

Large section containing personnel changes, including 'Retiring/Resigning Teachers' and 'Appointed Teachers'. Lists names, positions, and schools for various departments.



# 同窓会会報基金

## ご協力ありがとうございました。

同窓会会報の継続的な発行や事業活動の充実を図るために昨年度会員の皆様方からお願いいたしました会報基金が34名の方々にご協力をいただき総額16万1千円となりました。厚く御礼申し上げます。次に令和3年度基金協力者各位のご芳名・科名を掲載し、お礼に代えさせていただきます。

5千円	M 1	T 27	T 13	M 6	E 2	旧職	M 2	M 4	M 17	M 27	T 13	旧職	M 1	M 3	M 35	M 6	E 1	M 3	M 1	1万円
	内田	原田	三浦すみれ	鈴木	坂本	記田	野呂	石村	工藤	小野	奈良史	田中	成田	山田	福士加代子	加藤	一戸	山口	菊池	
	智明	典明	(旧姓中川)	正春	誠一	操平	修二	恵一	春仁	真嗣	江子	功	栄一	善治	勝逸	廣明	孝夫	誠一		
2千円	M 57	E 6	M 12	E 31	M 4	M 9	M 22	M 17	旧職	M 3	E 4	M 3	旧職	M 6	M 9	3千円				
	小林	齋藤	傳法谷公二	山中	健司	斉藤	須藤	須藤	岸	永見	白戸	新谷	下山	前田	笹木					
	眞洗	啓一	啓一	健司	昇	昇	修	修	修	正明	幸男	昇	清栄	太郎	光彦					

※同額掲載順につきましては到着順となっております。

## 令和3年度 第57回生 同窓会入会式

令和4年2月28日、第57回同窓会入会式が本校第一体育館において行われ、123名が新たな同窓生となりました。



本部からは、鈴木副会長、一戸副会長の2名の役員が参加されました。

今日と同窓会関東支部発足に関するエピソードを紹介したいと思います。昭和41年、同窓会関東支部を立ち上げようとしたが、当時は工業高校というイメージが悪く開催場所の予約も断られてしまいました。そこで当時の支部長は鈴木太左衛門初代校長に相談し、紹介された知人の口添えもあり無事に第1回関東支部同窓会を開催することができました。このように絆があれば道は開けるといふことを当時の支部長は熱く語ってくれたそうです。今、学校を巣立つ皆さんの周りやこれから行く先にも沢山の同窓生がいます。先輩を頼って甘えてください。本日は同窓会入会誠に

おめでとうございます。幸山校長先生の祝辞では、「本校の同窓会は13,000名を超える会員の歴史と伝統を誇る同窓会です。進学者人、本校で学んだ知識と技術を活かして就職する人、地元、県外の関東や中京などそれぞれの道となりますが、母校を支え、地域や日本を支える人間になってほしいと思います。今後も五所川原工業の卒業生のネットワークは間違いないと財産となりますので、更に交流を深めてください。」と述べられました。記念品贈呈では、一戸副会長(E20)より卒業証書用ファイルを生徒代表の神旭宏君(電気科)へ渡されました。入会の言葉では、青山蓮君(電子機械科)が「本日は、鈴木副会長、幸山校長から慈愛あふれる励ましのお言葉を頂いて、心から感謝申し上げます。先日の同窓会説明会では組織の活動内容を知ることができました。希望に満ちた明るい雰囲気を感じ、頼りになる先輩方が温かく私たちを迎え入れてくれることに感激しました。これからも全校一体一族の信念を持って社会に貢献できる人間になれるように努力いたします。」と述べました。参加された役員2名を紹介して入会式を終りました。

## 蒼空基金について

現在の同窓会運営の資金は、在校生からの会費及び会報基金による援助で賄われています。同窓会の事業活動の充実をはかるために、同窓会財務事情を考慮頂き基金の協力を宜しくお願いいたします。(振込用紙に必ず回生をご記入下さるようお願いいたします。)

(連絡先) 青森県立五所川原工業高等学校同窓会事務局 総務 高松 淳也 (T28) Tel: 0173-35-3444



創立60周年記念

# 懐かしの母校

創立50周年記念パンフレット・式典しおりより抜粋

※キャプション中の名称等は開校当時のものです。

旧蒼空館

正面玄関と管理棟

航空写真

高圧実験室

電気磁気実験室

全校トレーニング

鑄造実験室

開校記念式

機械工作実験室

機械工作実験室

懐かしい旧第1体育館

昭和38年11月1日

津軽富士(岩木山)を背景に電気科実習棟